

ペナン植物園との友好提携に関する共同声明 30 周年記念
公式訪問団派遣報告書

2024 年 8 月 20 日（火）～8 月 23 日（金）
文化・国際交流課



目次

1 派遣概要	1
(1) 訪問目的.....	1
(2) 板橋区公式訪問団	1
2 派遣日程	1
3 派遣日程詳細.....	2
(1) 1日目【8月20日(火)】.....	2
(2) 2日目【8月21日(水)】.....	3
(3) 3日目【8月22日(木)】.....	11
(4) 4日目【8月23日(金)】.....	18
(5) いただいたメッセージ	21
4 訪問の成果.....	23
(1) 全体を総括して	23
(2) 区議会議員所感.....	24
資料編.....	27
○協定書.....	28
○マレーシア・ペナン州との交流の経緯	30

1 派遣概要

(1) 訪問目的

マレーシア・ペナン植物園との「姉妹都市宣言書」調印 30 周年を記念し、区の公式訪問団を派遣する。
ペナン植物園をはじめとする様々な分野における取組を学ぶとともに、マレーシアにおける今後の交流の発展及び協力関係を確認する。

(2) 板橋区公式訪問団

No.	氏 名	役 職
1	坂本 健	板橋区長
2	田中 やすのり	板橋区議会議長
3	田中 しゅんすけ	板橋区議会議員
4	成島 ゆかり	板橋区議会議員
5	おばた 健太郎	板橋区議会議員
6	石川 すみえ	板橋区議会議員
7	舟山 百合子	板橋区議会事務局次長
8	小林 晴臣	板橋区区民文化部文化・国際交流課長

随行者(区役所出発～帰庁)

東武トップツアーズ株式会社添乗員 今野 佐知

2 派遣日程

日 付	内 容
8 月 20 日 (火)	板橋区役所 → 成田空港 → クアラルンプール空港(乗継) → ペナン空港 → ホテルジェンペナン
8 月 21 日 (水)	ホテル出発 → ペナン州政府とのミーティング → ペナン州首相表敬訪問 → ペナン空港 → クアラルンプール空港 → プルマンクアラルンプールシティセンター
8 月 22 日 (木)	ホテル出発 → プトラモスク視察 → マハティール元マレーシア首相表敬訪問 → マレーシア華人公会党首表敬訪問 → マレーシア法務大臣表敬訪問 → クアラルンプール市長表敬訪問 → マレーシアオリンピック委員会会長会食
8 月 23 日 (金)	<板橋区議会議員及び板橋区議会事務局次長> → クアラルンプール空港 <板橋区長及び文化・国際交流課長> → プルマンクアラルンプールシティセンター

	<板橋区議会議員及び板橋区議会事務局次長> 成田空港到着 → 板橋区役所 <板橋区長及び文化・国際交流課長> 芙蓉中華中学視察 → 前マレーシア首相のご子息との会食
8月24日（土）	<板橋区長及び文化・国際交流課長> 成田空港到着

3 派遣日程詳細

（１）１日目【8月20日（火）】

時間	内容
6:50	板橋区役所発
8:00	成田空港着、搭乗手続き
11:15	成田空港発(日本航空 JL723 便)
17:45	クアラルンプール空港着(乗り継ぎ)
20:45	クアラルンプール空港発(日本航空 JL7957 便)
21:50	ペナン空港着
22:40	夕食会 @Chef Wang Fusion Kitchen

●乗り継ぎ便のJL7957便が、使用機材到着遅れの為、クアラルンプール空港を40分遅れで出発。21:50頃ペナン空港に到着し、現地のガイドに出迎えられた。

その後バスで区長の知人のお店「シェフ ワン フュージョン キッチン」に到着し、現地のコーディネーターとも合流し、お出迎えいただいた現地の方々と会食した。

到着が遅くなったのにも関わらず、笑顔で出迎えていただき、また現地の沢山の料理をふるまっていた。

「一期一会」というが、一度の出会いを大事にしている姿勢を感じ、とても思い出深い会食となった。



(2) 2日目【8月21日(水)】

時間	内容
9:00	ペナン州政府とのミーティング @Cititel Hotel 3 階 Ballroom 4 (板橋区中学生海外派遣事業でペナン州を訪れていた中学生と合流)

<ペナン州側参加者>

Kornari Artan Bin Mustaffa	ペナン州経済企画部
Puan Nur Syazwani Binti Ismail	ペナン植物園園長
Wan Heng Loon	ペナン・ケーブルカー将来計画シニアプロジェクトオーナー
Puan Dharshini	ペナン州国際経済企画部・運輸部門
Puan Nurjannah Bin Mohd Idris	ペナン州地方自治体部

<ミーティングスケジュール>

9:00	:	集合写真
9:15	:	ミーティング/ブリーフィング開始
9:20	:	ペナン州経済企画部より挨拶 (Kornari Artan Bin Mustaffa)
9:25	:	板橋区長より挨拶
9:35	:	板橋区議会議長より挨拶
9:45	:	植物園に関する発表 (Puan Nur Syazwani Binti Ismail)
10:05	:	ケーブルカーの将来計画に関する発表 (Wan Heng Loon)
10:25	:	休憩
10:40	:	ペナン島 LRT プロジェクトに関する発表 (Puan Dharshini)
11:00	:	スマートシティ計画に関する発表 (Puan Nurjannah Bin Mohd Idris)
11:20	:	質疑応答
11:45	:	中学生代表によるスピーチ、記念品交換
11:55	:	終了



●ペナン州政府とのミーティングをシティテルホテルにて行った。ミーティングには、板橋区公式訪問団だけでなく、同時期に板橋区中学生海外派遣事業でペナン州を訪れていた中学生も合流した。また、ペナン植物園との友好提携に関する共同声明 30 周年記念ロゴが印刷されたTシャツを着用しミーティングに臨んだ。

初めに、ペナン州経済企画部のカマルル・アズラン・ビン・ムスタファ氏より、歓迎の挨拶があった。区長からは、盛大なミーティングを開いていただいたことに対するお礼から始まり、2008 年にペナン植物園内に「日本庭園」を造っていただいたことに対する感謝、友好提携を結んでから 30 年、植物の種子の交換から始まった交流は板橋区中学生海外派遣事業のように植物園の枠を超えて広がりを見せていることの喜びを伝え、最後に、これからは SDGsの視点から、環境、産業、教育等の分野で引き続き交流を図り、互いに成長していきたいと結んだ。

議長からは、板橋区熱帯環境植物館の説明から始まり、是非一度お越しいただきたいこと、これからも板橋区中学生海外派遣事業やペナン州との交流の充実を応援していくと挨拶した。

その後、各部署からブリーフィングが始まった。

ペナン植物園長のヌル・シャズワニ・ビンティ・イスマイル氏からは植物園の歴史や業務についての説明に加え、2008 年にペナン州に板橋区の寄付により「日本庭園」が設立されたこと、2026 年にケーブルカーの敷設が完了することを発表し、最後にこれからも交流を行っていききたいと結んだ。

ペナン・ケーブルカー将来計画シニアプロジェクトオーナーのワン・ヘン・ルーン氏からは、ケーブルカーの将来計画について、観光客の訪問満足度向上、環境保護、生物多様性、エコツーリズムの向上、観光繁忙期の交通機関のバックアップとなること等を目的とし、環境にやさしい交通機関として計画していることが発表された。

休憩の後、ペナン州国際経済企画部・運輸部門のダルシニ氏からは、ペナン島 LRT プロジェクトについて、「ペナン・トランスポートマスタープラン」のビデオを放映。ペナン島の一番の課題として、交通渋滞と交通手段がバスしかないということを挙げた。そして、交通混雑緩和、線路接続、島民の生活水準向上、ビジネスや観光の機会増加を目的とする LRT プロジェクトのビジョンとして、2030 年までに 40%の交通混雑の課題解決を目指すことを発表した。

ペナン州地方自治体部のヌルジャンナ・ビンティ・モハド・イドリス氏からは、スマートシティ計画について、都市の管理、生活の質向上のための情報伝達の促進、情報技術の利用、経済活動の活発化などの改革に全島民が参加できるよう注力していることが発表された。

ペナン州政府からの一連の説明が終了すると、中学生の代表によるお礼のスピーチがあり、記念品を交換して大きな拍手で締めくくられた。相互の友好関係の発展を確認し合い、ペナン州政府とのミーティングは終了した。

休憩時間やミーティング終了後も、ペナン州政府や中学生との記念撮影、意見交換などを行い、充実した交流となった。ミーティングの開催にご尽力いただいた皆様に心から感謝したい。







時間	内容
13:50	ペナン州首相及びペナン島市長表敬訪問 @KOMTAR

<ペナン州側参加者>

Mr. Chow Kon Yeow	ペナン州首相
Dato Ir. Rajendran a/l P. Anthony	ペナン島市長
Ms. RAJA Syarafina Raja Shuib	ペナン州首相特別秘書官

●ペナン島ジョージタウンのランドマークであるコムターにてペナン州首相のチョウ・コン・ヨウ氏及びペナン島市長のラジェンドラン氏を表敬訪問した。

チョウ・コン・ヨウ氏からは、訪問団の来訪を歓迎し、ペナン植物園との友好提携 30 周年を大変嬉しく思っていること、今後も交流が続き、相互に発展するとともに平和に貢献することを祈念すると挨拶された。区長からは、州首相へご挨拶する場を設けていただいたことに対する感謝及びペナン州との交流を今後も積極的に行っていききたい旨挨拶し、記念品の交換を行った。

ロビーにおける記念撮影終了後、窓から見下ろす町並みを見ながら、ペナン島におけるまちづくりについて区長からの質問に対し回答をいただくなど、意見交換ができ、有意義な時間を過ごすことができた。





時間	内容
15:10	ペナン空港到着
16:35	ペナン空港発(マレーシア航空 MH1149 便)
17:45	クアラルンプール空港着
19:35	プルマンクアラルンプールシティセンターホテル&レジデンス着

時間	内容
20:30	夕食会 @Grand Harbour

●プルマンクアラルンプールシティセンターホテル&レジデンスに到着後、徒歩で夕食会場である「グランドハーバー」に移動した。食事には翌日表敬訪問予定であるクアラルンプール市のプロジェクト管理及び保守アドバイザー顧問をしているタン・ケン・チョク氏も同席した。

食事中に現地のコーディネーターより、偶然隣の部屋で食事をしていたマレーシア華人協会党首のウィー・カ・シオン氏をご紹介いただき、急遽翌日に訪問することが可能となった。

どの料理も美味しく、手厚いおもてなしを受けた。

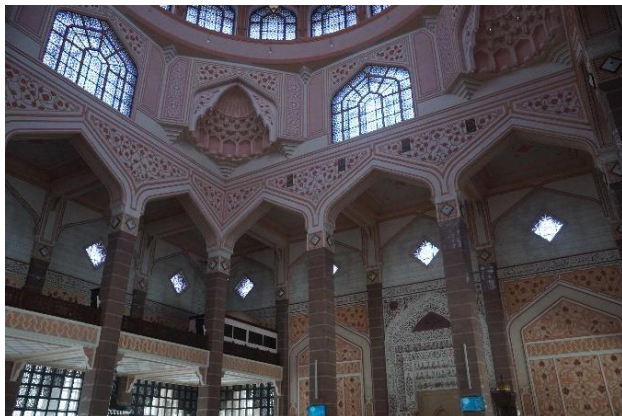


(3) 3日目【8月22日(木)】

時間	内容
9:30	プトラモスク視察 @Putra Mosque

●マハティール元マレーシア首相への表敬訪問までの時間を利用し、プトラジャヤにあるプトラモスクを視察した。

女性は肌と髪の毛の露出が禁じられているため、ローブを着用して入場した。ガイドより、モスクが淡いピンク色をしているのは天然の花こう岩を使用していること、毎週金曜日の正午の礼拝は、金曜礼拝といって一週間で最も重要なお祈りとされており、政府機関や一般企業の中には、金曜日の2時間昼休憩を設定しているところが多くあること、プトラモスクには 15,000 人もの人が収容できること、ホテルの天井についている矢印はメッカの方角であることなどの説明があり、お祈りが当たり前の生活となっているマレーシアの文化の一部を垣間見ることができ、非常に勉強になった。



時間	内容
10:45	マハティール元マレーシア首相表敬訪問 @Perdana Leadership Foundashion

●モスク視察後、同じプトラジャヤにあるペルダナリーダーシップ財団本部にて元マレーシア首相のマハティール・ビン・モハマド氏に表敬訪問を行った。

まず区長より、今まで多くの平和に対するメッセージをいただいたり、板橋区への訪問をしていただいていることへの感謝や元気なお姿を見ることができて嬉しいこと、7月10日に99歳の誕生日を迎えられたことのお祝いを伝えた。また、これからも若い区民に対しご指導をいただきたいと結んだ。

マハティール氏からは、訪問してくれたことに対する感謝から始まり、日本は多くのことを学んだ恩のある国であり、その恩を未だ返し切れていないこと、板橋区は印象深く忘れられない都市であり、特に板橋区の病院はとても素晴らしいこと、これからも兄弟のようにマレーシアと交流して欲しいこと、自分が主導してまちづくりを行ったプトラジャヤの歴史をお話された。

その後、公式訪問団より、「政治家にとって一番大切なこと」、「マレーシアが未だ生産人口が多い理由」、「日本の社会保障制度の継続が難しくなっていることに対する施策」、「マレーシアのように多様性を受け入れる社会になるためのアドバイス」、「板橋区の病院はどんな点が具体的に良かったか」、「日本もマレーシアも国民が更に幸せになるための見解」についてマハティール氏よりご回答をいただいた。

最後に板橋区に対するメッセージを色紙にしたためていただき、記念撮影をして終了した。

平和であることが何よりも大事であることとお話しになるとともに色紙にもメッセージで書かれ、暴力は何も生まないという確固たる思いを感じた。また、時間を割いて公式訪問団の質問に丁寧に応じられたことや、一人ひとりの写真撮影にも笑顔で対応していただくなかで、誠実かつ優しさに溢れた人柄を肌で感じ、得るものが多い充実した時間となった。





時間	内容
12:45	マレーシア華人協会党首表敬訪問 @Wisma MCA

<マレーシア側参加者>

Yang Berhormat Datuk Seri Ir. Dr. Wee Ka Siong	マレーシア華人協会党首
Datuk Lawrence Low Ah Keong	マレーシア華人協会副党首
Datuk Nicole Wong Siaw Ting	マレーシア華人協会国際問題外交局長
Datuk Steven Lim	マレーシア華人協会大統領室顧問 他 1 名

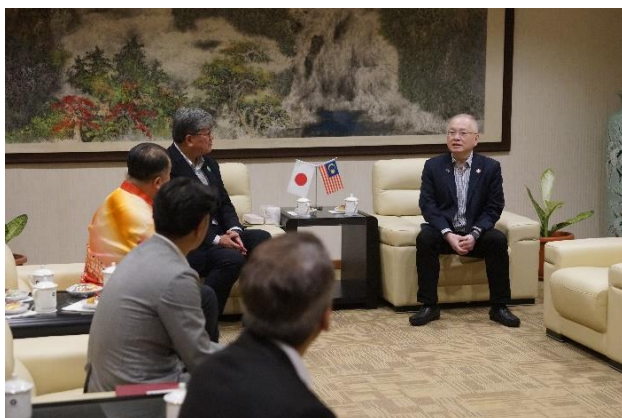
●クアラルンプール市にあるウイスマ MCA にて、MCA(マレーシア華人協会)党首ウィー・カ・シオン氏を表敬訪問した。

ウィー・カ・シオン氏から「GOOD BROTHER! 」と出迎えていただいた。また、一自治体の表敬訪問は板橋区が初めてだということ、日本は素晴らしい国であり、日本の施策から多くのことを学んでいかなければならないことなどを挨拶された。

区長からは、前日に決まった面会であり大事な大会前であるにもかかわらず、時間を割いてくれたことに対する感謝から始まり、党首が得意とする交通問題、物流問題に対する施策や新しい技術など、こちらもマレーシアから学んでいかなければならないと挨拶した。

その後、記念品の交換を行い、記念撮影をして終了した。

要職の方々にもお出迎えいただき、終始和やかな雰囲気での訪問となった。前日に会うことが無ければ実現しなかった訪問であり、偶然の出会いに感謝したい。また、マレーシア華人協会の方々との友好的かつ柔軟な姿勢は区が国際交流を推進していくうえで見習っていきたいと感じた。



時間	内容
14:10	マレーシア法務大臣表敬訪問 @WTC

●クアラルンプール市にあるワールド・トレード・センター・クアラルンプールにて法務大臣アザリナ・オスマン・サイド氏を表敬訪問した。

区長より、UNMO(統一マレー国民組織)総会中にも関わらず、時間を割いてくれたことに対する感謝及びマレーシアから沢山のことを学んでいきたいこと、今後訪日する際には是非板橋区にお越しいただきたいことなどを話した。

アザリナ・オスマン・サイド氏からは、自身の現状とともに、訪日した時の体験談や日本に対する敬意などをお話になった。

その後、区より記念品を贈呈し記念撮影をして終了となった。

表敬会場に行くまでの間、多くの方が通路に待機しており、相当大きい規模の総会であることを知ったが、そのような中、大臣と直接お会いできたことに對し光榮に思うとともに、ご配慮に心から感謝したい。



時間	内容
15:05	クアラルンプール市長面会 @Kuala Lumpur City Hall

●クアラルンプール市の中心にあるクアラルンプール市庁舎にて、クアラルンプール市長のマイムナ・モハマド・シャリフ氏を表敬訪問した。

区長からは、時間を割いてくれたことに対する感謝から始まり、クアラルンプール市と板橋区は都市部特有の共通の課題が多くあり、その中でも、水害対策はクアラルンプール市から学ぶことが多くあることから、情報共有や意見交換を継続していきたいことなどを話した。

クアラルンプール市長からは、訪問団の来訪を歓迎し、ペナン植物園との友好提携が30周年を迎え、また中学生海外派遣事業などに交流の輪が広がっていることを大変素晴らしく思っていること、是非クアラルンプール市でも市民レベルでの交流をしていきたいことなどを話した。

その後、色紙にメッセージをお願いし、記念品の交換を行い、記念撮影をして終了した。

就任されたばかりの新市長とお互いの考えについて共有することができた有意義な時間となった。相互の課題解決及び発展のため、積極的に交流を重ねていきたい。



時間	内容
18:00	マレーシアオリンピック委員会会長会食 @Shangri-La Kuala Lumpur

●クアラルンプール市にあるホテル、シャングリラクアラルンプールにて、マレーシアオリンピック委員会会長のモハマド・ノルザ・ビン・ザカリア氏と会食した。

区長からは会食にご招待いただいたことや2年前に板橋区にお越しいただいたことに対するお礼から始まり、高島平団地を例に進む高齢化に対する施策などについてマレーシアから学んでいきたいと話した。

モハマド・ノルザ・ビン・ザカリア氏からは、訪問団来訪の歓迎から始まり、マレーシアは今オリンピック選手の育成に特に力を入れており、日本のように世界で戦える選手を多く輩出できるよう日本における指導方法を学んでいきたいことなどを話した。

その後、記念品の交換を行い、記念撮影をして終了した。

スコールが降ったことにより、クアラルンプールでは交通渋滞が発生し、会場に到着する時間が遅くなってしまったが、全く気に留めることなく出迎えていただいた。多忙な中お会いできたことを光栄に思うとともに、ご配慮に心から感謝したい。



時間	内容
21:10	クアラルンプール空港着
22:50	クアラルンプール空港発（日本航空 JL724 便）

●区長及び文化・国際交流課長以外の訪問団は会食終了後、帰路に就いた。区長は翌日に前マレーシア首相夫人より会食にご招待いただいたため、臨席すべく、文化・国際交流課長とともに一日延泊した。

（４）４日目【８月２３日（金）】

時間	内容
14:00	芙蓉中華中学視察 @Chung Hua High School Seremban

●前マレーシア首相夫人との会食までの時間を利用し、マレーシアのヌグリ・スンビラン州にある芙蓉中華中学を視察した。

蔡欽陽校長をはじめ、教員、学校の卒業生の方など大勢の方に出迎えていただき、ミーティングルームにて学校の紹介を動画で見せていただいた後、校内にある歴史を記録・展示している「校史館」を見学し、校内全体を車でご案内いただいた。

ご説明では、1913年に中華系の子どもを受け入れる学校として創立され、110年以上の歴史がある伝統的な学校であること、1962年に国の統一的教育方針から独立し、独自の教育を推進していること、学校の運営費は卒業生などからの寄付で成り立っており、在校生の教育費を安くすることができていること、大規模な寮があり、毎年1,000人以上入寮する生徒がいること、卒業生は東京大学や京都大学などにも多数進学しており、勤勉な生徒が多いこと、東京都立福生高校やアメリカコロンビア大学、NASAと交流し、多くの刺激を受けていること、運動場や寮の広さが足りないため、今後敷地を広げていく計画があることなど、丁寧かつ時間をかけて対応していただいた。

区長からは、急な来訪であったのにも関わらず、丁寧なご対応をいただいたことに対する感謝や昨年学校創立110周年を迎えたことに対するお祝いから始まり、今後機会があれば、学校と交流を図っていきたいと結び、記念品の交換と記念撮影をして終了した。

生徒がいない時間帯であったが、動画では皆生き生きと勉強やイベントを楽しんでおり、充実した日々を送っていることがわかった。また、生活をする環境が良く、設備も充実しており、先生や卒業生が一体となって生徒の学びを支援している様子が垣間見えた。盛大かつ誠実なご対応に心から感謝したい。



時間	内容
18:00	前マレーシア首相のご子息との会食 @One Seafood Restaurant

●前マレーシア首相夫人が急遽都合が悪くなってしまう、ご子息のナシュリク・イスマイル・サブリ氏が出席しての会食となった。

区長からは、会食にご招待いただいたことや、2年前に前マレーシア首相とともに板橋区にお越しいただいたことに対するお礼をするとともに、お越しいただいたことがきっかけで、その後多くの方に板橋区を訪問していただいております、さらに交流の輪が広がったこと、また是非皆さんで板橋区を訪問して欲しいことなどを話した。

ナシュリク氏からは、会食に応じてもらったことの歓迎や母の都合が悪くなってしまったことのお詫び、区長は尊敬する素晴らしい友人であり、2年前に出会うことができて光栄だったこと、今度は家族全員でお会いしたいことなどをお話になった。

この日も強い雨が降ったことにより、クアラルンプールでは交通渋滞が発生し、会場に到着する時間が遅くなってしまったが、全く気に留めることなく出迎えていただいた。ナシュリク氏はとても気さくで親しみやすい人柄であり、終始笑いが絶えない会食となった。2年前の出会いからさらなる友好関係の向上に繋がった会食にご招待いただいたことを改めて感謝したい。



時間	内容
21:30	クアラルンプール空港着
22:50	クアラルンプール空港発（日本航空 JL724 便）

（５）いただいたメッセージ

①元マレーシア首相マハティール・ビン・モハマド氏

Peace is better than War.

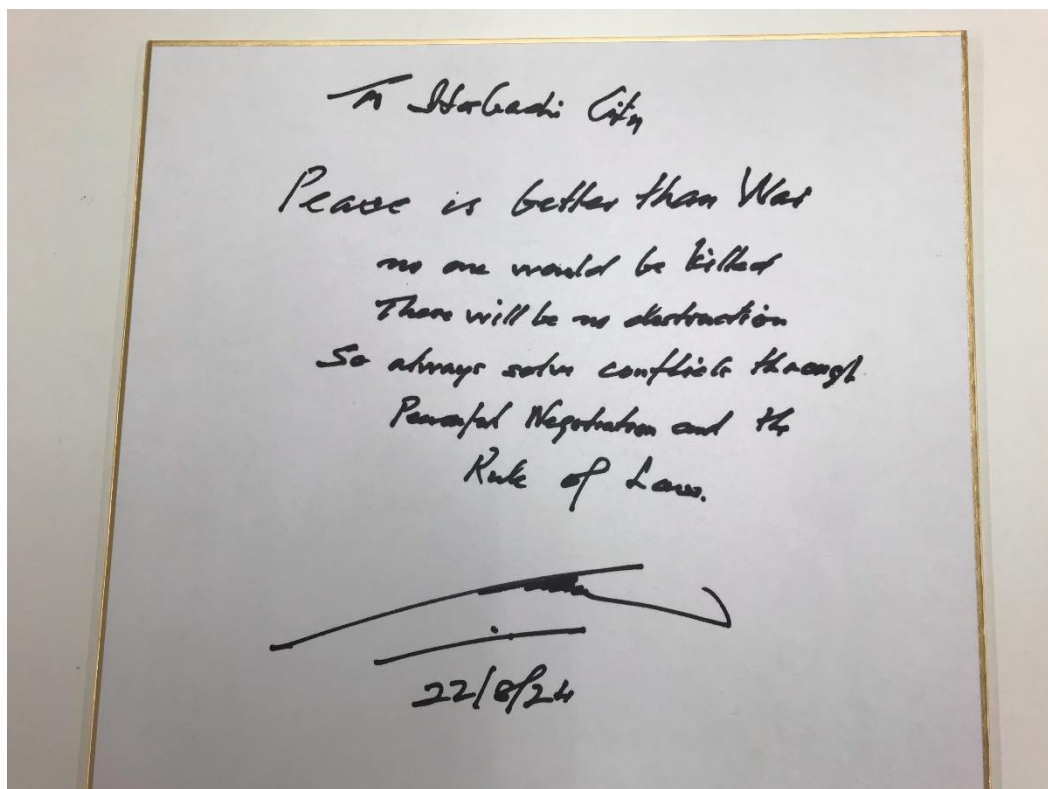
平和は戦争に勝ります。

No one would be killed There will be no destruction.

（平和な世界では）誰も殺されることはなく、破壊ありません。

So always solve conflicts through Powerful Negotiation and the Rule of Law.

（平和な世界の実現のために）力強い話し合いと法の支配によって紛争を解決してください。



②クアラルンプール市長マイムナ・モハマド・シャリフ氏

A city is for the People.

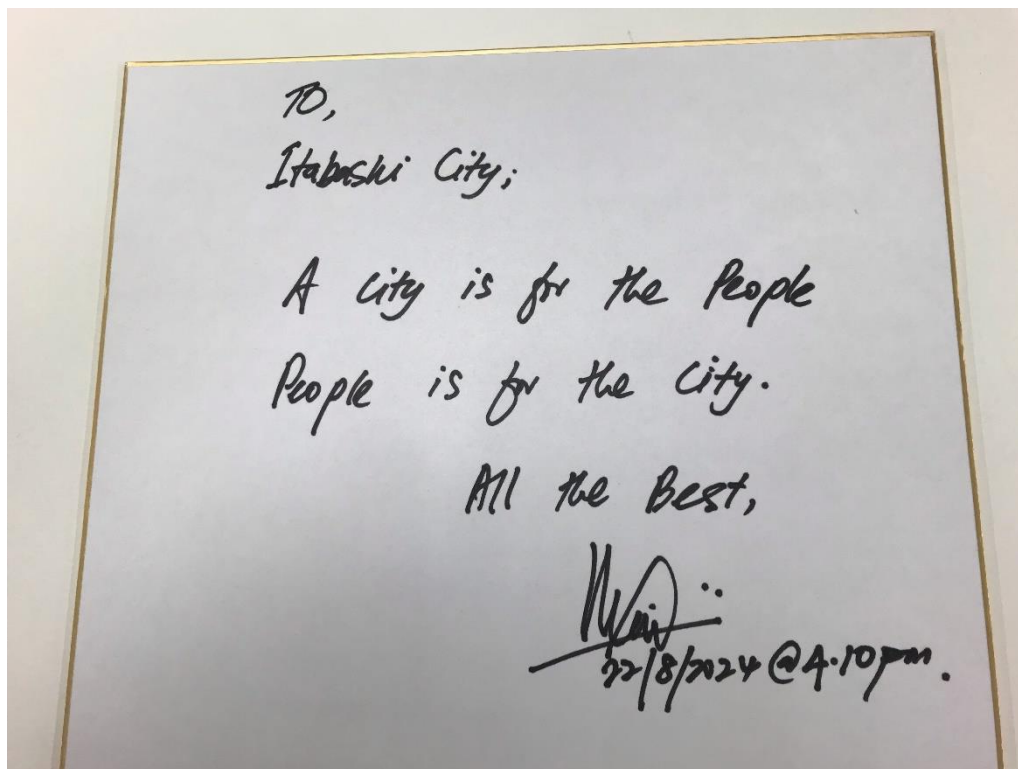
都市は人々のためにあり、

People is for the city.

人々は都市のためにあります。

All the Best.

幸運を祈っています。



4 訪問の成果

(1) 全体を総括して

今回の 30 周年記念公式訪問は、ペナン州をはじめ、行政都市プトラジャヤ、首都クアラルンプール、ヌグリ・スンビラン州など、多くの訪問先があり、多くの方々にお会いする機会があったが、笑顔でお出迎えいただき、盛大な歓待を受けたことに心から感謝したい。

2日目のペナン州政府とのミーティングでは、大規模改修工事中であるペナン植物園を訪問できない中で、植物園の現状やペナン島 LRT プロジェクトなど、関係者の方からペナン島の現状についてご説明いただいたこと、また、併せて中学生海外派遣事業において同時期にペナン州を訪れていた中学生も合流してミーティングを実施することができたことは大きな成果であり、大変有意義な時間を過ごすことができた。現地での会場の確保や、出席者の調整等、ミーティングの開催にご尽力いただいた現地 JTB のジョイス氏をはじめ、ご協力いただいた全ての職員の方々に感謝したい。

また、ペナン州知事にはお会いすることは結果としてできなかったが、ペナン州首相やペナン島市長を表敬訪問し、初めてお会いすることができたことも、植物園を超えて広がりを見せている交流の輪を共有し、さらなる友好交流に繋げるきっかけづくりとなったことは、大きな功績となった。

3日目、4日目のマレーシアの要人への表敬訪問では、以前、これまでの交流が実を結び、イスマイル・サブリ氏が板橋区に表敬訪問し、経済交流や防災対策における意見交換に繋がったように、今後さらなる区民還元が期待できる取組に繋げていくために有意義な機会となったが、要人であるため訪問スケジュールが直前まで決まらず、また、タイトなスケジュールの中でさらに急遽訪問先が増えるなど、訪問団に負担をかけてしまったことは反省すべき点である。しかし、そのような中でも、マハティール氏への表敬訪問において、訪問団からの質問に丁寧にご回答をいただいたことなど、この度の訪問に得るものがあったと感じていただけたのであれば幸甚に思う。

この度の訪問で得た繋がりを最大限活用し、さらなる友好交流に発展させることができるよう尽力するとともに、国際交流を通して、区民に異なる文化を理解し、尊重する多文化共生意識の醸成を図っていきたい。

（２）区議会議員所感

○田中やすのり 区議会議員

ペナン州政府とのミーティングにおいて、板橋区ジュニアアンバサダーとして現地滞在中の中学生海外派遣団と合流しました。中学生のマレーシア・ペナン島でのホームステイはこの上ない貴重な機会となったのだらうと強く印象を受けました。

マレーシア、ペナン島ではマレー系や中華系などの多文化が根付き、共存が図られています。また、マレー系の方々は、イスラム教を信仰しており、宗教が生活の基礎にもなっています。そして、生きる上で大切な価値観もそこにあるのでしょう。中学生は生活の実相に触れて、それぞれに感じ取ってきたはずです。

これがとても有意義で貴重なことで、教室でいくら教員が多文化や宗教、価値観の違いなどの多様性について説明し理解を求めても、すぐに伝わることはありませんが、肌が触れ合う国際交流からはあつという間に相手への理解を深めることができます。マレーシア・ペナン島の人々が自分たちとは違うことに気づき、相手の文化を深く知ることに繋がるなど、本当に実りが多かったものだらうと感じています。中学生の目が物語っていました。

ただ今回の中学生の国際交流は、日本からマレーシア・ペナン島へのまだ片道切符。今後はマレーシアから、板橋への切符を準備して、往復での国際交流となっていくことを強く期待しています。

また、交流のきっかけとなったペナン植物園が大規模改修の真ただ中で、今回は訪問が叶わなかったことが唯一の心残りでした。植物園にケーブルカーが設置されるなど、大きなプロジェクトが進行しており、完成した暁には、またお会いしましょうと声を掛けられたことが純粋に嬉しく、今までの交流の証を感じることができました。相互の交流が深まるように、私も尽力をしていきたいです。

○田中 しゅんすけ 区議会議員

私の所感を率直に述べさせていただきます。

はじめに、残念なことではありましたが、ペナン植物園がケーブルカーの工事のため園内での視察はなかったものの、州政府とのミーティングの際、植物園の未来構想や、ペナン島の LRT プロジェクトに関する取組、さらには、“いたばし・ジュニア・アンバサダー・プログラム”に参加している生徒と合流し、ペナン州スタッフとのティーブレイクを取り入れた交流は有意義な時間でありました。

また、板橋区立熱帯植物館がペナン植物園と結んでいる「友好提携に関する共同声明」を通じた国際交流を進展させる板橋区の親善大使としての役割を果たし、英語が第二外国語として普及している多民族国家マレーシアで得た成果や体験を、他の児童・生徒に広めることで、事業の目的でもある英語教育の推進にも役立ち、多様性を理解するキッカケとなることが期待できました。

是非この機会を捉え、広島・長崎へ派遣された生徒たちにとっての「板橋平和のつどい」のような発信の場を、教育委員会と連携し、国際交流の視点も含め、企画すべきものと考えます。

一方で、問題も幾つかあると思われます。まず派遣される議員に対する、行程や訪問地選定の主旨についての説明が不十分であったこと、さらに、訪問先へのスケジュールが確定されていなかったことは課題として挙げられ、これらは、派遣目的への達成を阻む要因となると考えられます。議会側も国際交流の役割を果たすべく提案や、行動指針を示す機会を持たなかったことも、改善すべき点だと考えます。

とは言え、クアラルンプール市長から「これからの人材交流では、日本とマレーシアとの視点ではなく、板橋区とマレーシアの視点で考えたい」と発言をいただけたことは、大きな成果であったと感じています。

○成島 ゆかり 区議会議員

ペナン植物園との友好提携に関する共同声明30周年記念公式訪問団派遣事業に参加させていただき、心から感謝いたします。

初日のペナン州政府とのミーティングでは中学生海外派遣事業のジュニアアンバサダー22名と合流し、滞在中の状況を楽しそうに笑顔で話す姿にこの事業の重要性を改めて認識しましたし、さらに拡充していただきたい事業と考えます。その後も、国レベルの要人の方々を表敬訪問させていただき、大変に貴重な経験をさせていただきました。

特に、マハティール元首相においては、一国の元首相であるにも関わらず、とても友好的で包容力のある凛としたご対応に大変に感銘をうけました。わが党の創設者とも二回にわたり対談をしてくださっています。対談のなかで元首相は、『多様な要素を合計し、統合した場合には『文化』こそが、その国の在り方を規定している最も重要な存在でしょう。』と語られています。

マレーシアは多民族、多文化の国です。今回の交流を通して、多文化共生を肌で感じる事が出来ました。板橋区においても『文化』という視点から共生社会の実現にむけて取り組むことが重要と感じました。

交流派遣に際し、様々準備をしてくださった皆様に心から感謝申し上げます。

テリマカシー！！

○おばた 健太郎 区議会議員

ペナン植物園友好提携30周年を記念して、公式訪問団としてマレーシアペナン州および首都クアラルンプールを視察した。また各地の政府関係者とも意見交換を行うことができ、大変有意義な視察となった。

21 日、ペナン州政府とのミーティングでは、ペナン植物園長、ペナンケーブルカープロジェクトシニアオフィサー等々からペナン植物園の現在の取り組みについて、また国家経済計画課/運輸課からはペナン州における LRT の計画についての説明があった。ペナン植物園は現在大規模な改修工事が行われており、植物園内にケーブルカーも建設されるとのことであった。完成は 2026 年とのことで、今回は視察できずに残念であったが、植物園がリニューアルし、板橋区立植物園との交流がさらに深まることを期待したい。ペナン州首相との表敬訪問では、ペナン州首相、ペナン島市長、州首相特別秘書官との意見交換を行い、さらに交流を深める旨確認することができた。

翌日 22 日には最初にマハティール元マレーシア元首相を訪問し、行政の在り方について示唆に富んだメッセージをいただいた。また、マレーシア華人公会の党首やマレーシア法務大臣面会、クアラルンプール市長とも面会し、ペナン州にとどまらず、マレーシアと板橋の交流が深まった。特にクアラルンプール市長との面会では、板橋区も東京という大都市の中にあり、交通問題や豪雨対策など、連携できる部分が多くあるとの認識が共有された。今後の交流の深化が期待される。また、クアラルンプール市長からはクアラルンプール市の子供たちと板橋の子供たちとの交換留学の可能性についての発言があった。ぜひ前向きに検討いただきたい。

最後にマレーシアオリンピック委員会委員長との会食では、スポーツを通じての交流の重要性について認識を共有した。

3泊4日のうち、2日はほぼ移動であったため、実質2日の強行スケジュールではあったが、今後の板橋区とマレーシアとの交流が深まる、有意義な視察であったと思われる。

○石川 すみえ 区議会議員

ペナン州にてホームステイしている区立中学生たちと交流がもてたことは、大変よかった。生徒たちと直接はなすことで、交流事業の意義を感じることができた。クアラルンプール市でもこどもたちの交流事業がはじまると、素晴らしいと感じた。

マハティール氏に会えただけでなく、質問をできたことは大変貴重な経験であった。ASEAN の対話の努力について、以前より日本は外交姿勢において学ぶべきところがたくさんあると考えており、国家間暴力について意見を伺った。板橋区だけでなく、これからの世界の在り方についても示唆に富む内容だったように思う。

視察行程がなかなか決まらず、仕方のない部分もあるのかもしれないが、行政間でのやり取りをもっとすべきではないかと思う。また、植物園を視察できなかったのは大変残念である。植物園同士の交流を、区としてより一層努力すべきと考える。

資料編

友好提携に関する共同声明

東京都板橋区立熱帯環境植物館とマレーシア・ペナン州立ペナン植物園は、これまで熱帯環境植物館の開設に向けた準備の中で、熱帯植物に関する情報交換等を通じ、交流を深めてきた。

私たち両植物館・植物園がさらに親密な交流を深める目的は、両都市の人々に熱帯林の減少をはじめとする地球環境問題に関する適正な情報を相互に提供し、我々の責務である「より良い地球環境を後の世代に継承していく」ことに寄与することである。

この共同声明は、1994年9月21日、両植物館・植物園が友好関係を提携し、今後の植物・種子の交換、技術交流、情報交換などの交流を、より効果的で意義深いものにするため、板橋区とペナン州政府の相互の決意を確認するものである。

平成6年9月21日

板橋区長

石塚輝雄

石塚輝雄

ペナン州政府副長官

アバス・セン・ハジ・アーマド

Joint Communique on Resolution of Friendship

Penang Botanical Gardens of Penang, Malaysia and Itabashi Botanical Gardens Tokyo, Japan have increased their friendship through the exchange of information on tropical plants during the course of preparation for the opening of botanical gardens reproducing tropical environments.

We are convinced that the promotion of closer relations between the two botanical gardens and mutual provision of information on global environments such as the progress of deforestation in tropical rain forests to citizens of both cities will greatly contribute to our responsibilities of "passing down better global environments to future generations."

This joint communique, dated September 21, 1994, is intended to confirm the mutual resolution of the governments of Penang State and Itabashi City to establish friendly relations between Penang and Itabashi Botanical Gardens, and to continue future interchange between the two botanical gardens which will involve the more effective and meaningful exchange of plants, seeds, technologies and information.

September 21, 1994



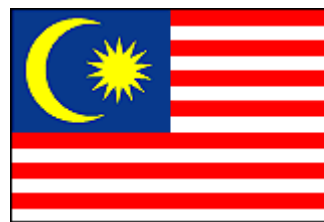
*Guan Haji Abbas bin Haji Ahmad
Deputy State Secretary
Penang State Government, Malaysia*



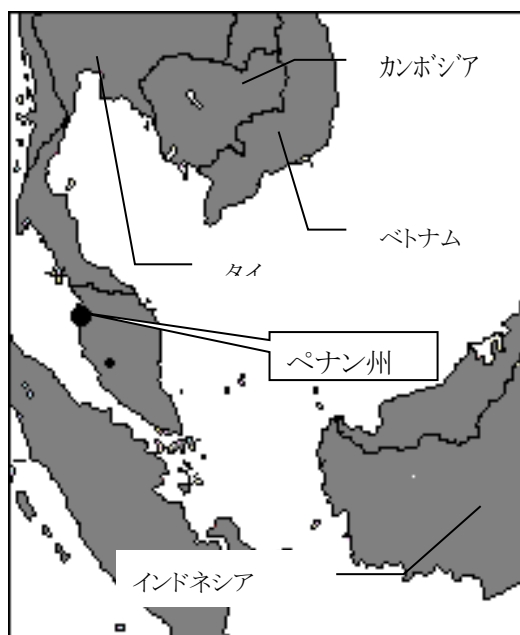
*Teruo Ishizuka
Mayor
Itabashi City, Tokyo, Japan*

○マレーシア・ペナン州との交流の経緯

板橋区とペナン州は、1994 年 9 月 21 日区立熱帯環境植物館とマレーシア・ペナン州立ペナン植物園との間の「友好提携に関する共同声明」を調印している。



ペナン州の概要



人 口	約 1,766,800 人(2018 年)
位 置	マレーシア半島の北西に位置する。
面 積	1,046km ² (板橋区の 32 倍)
気 候	熱帯性気候 昼間の平均気温 31℃ 夜間の平均気温 22℃
産 業	製造工業、観光、貿易、サービス業
言 語	マレー語、英語、北京語、福建語、 広東語他

《ペナン植物園》

ペナン植物園は、ペナンの東北部のジャングルにかこまれた谷の斜面を利用してつくられた約 29 ヘクタールの植物園である。園内には 400 種類以上の熱帯植物やランの温室、英国式の庭園などがある。

<http://botanicalgardens.penang.gov.my/index.php/en/>

交流の経緯

1992 年 (H4 年)	5 月	・ペナン州政府代表団が板橋区を訪問
1994 年 (H6 年)	9 月 (21 日)	・共同声明調印(区立熱帯環境植物館内にて) ・ペナン州政府副長官ほか1名が板橋区を訪問
1995 年 (H7 年)	9 月 11 月	・熱帯環境植物館開館1周年マレーシア特別展開催 ・植物の交換事業(ゾウコンニャク・イランイランなど 12 種)
1997 年 (H9 年)	3 月	・ペナン植物園内に板橋コーナー設置
1998 年 (H10 年)	1 月	・ペナン産ランの里親制度を発足
1999 年 (H11 年)	1 月 5 月	・植物の交換事業 ・板橋区の古紙リサイクル鉢及び日本産ランをペナン植物園に寄贈
2000 年 (H12 年)	3 月 6 月	・ペナン植物園の協力によりニッパヤシを輸入 ・熱帯環境植物館温室内マレーハウス屋根のニッパヤシ葺き替え作業を来館者に公開
2002 年 (H14 年)	3 月	・ペナン植物園より、ネジレフサマメの種子、フタバガキ科植物を輸入

2003 年	(H15 年)	8 月～ 12 月 9 月	・「50 万区民で守ろう！マレーシアの熱帯林」をスローガンに板橋区商店街連合会と共催で植林募金を行う ・ペナン植物園に、絵手紙・植物画を贈呈
2004 年	(H16 年)	12 月	・ペナン植物園交流 10 周年を記念し、公式訪問団・区民交流団がペナン植物園及び州政府を訪問
2005 年	(H17 年)	1 月	・スマトラ島沖地震によるペナン州津波災害に対する区及び区民からの義援金をマレーシア大使館へ持参
2006 年	(H18 年)	4 月～ 6 月	・板橋区商店街連合会と協力し、「ペナン植物園に日本庭園を贈ろう」募金の実施
2008 年	(H20 年)	7 月	・ペナン植物園内「日本庭園」竣工を記念し、公式訪問団、区民ツアーがペナン植物園を訪問
2010 年	(H22 年)	9 月	・マレーシア観光大臣が板橋区を訪問、歓迎昼食会を実施
2013 年	(H25 年)	11 月	・マレーシア特命全権大使、マレーシア投資開発庁副局長が産業見本市を訪問
2014 年	(H26 年)	1 月 8 月 9 月	・マレーシア観光文化省大臣が板橋区を訪問、熱帯環境植物館視察及び歓迎夕食会実施 ・「マレーシア・ペナンフェア」を実施 ・「友好提携に関する共同声明」調印 20 周年を記念して、板橋区代表団(区長、議長、文化・国際交流課長)がペナン植物園を訪問(ユーカー記念植樹式、歓迎行事に出席、及び市内視察実施)
2015 年	(H27 年)	8 月	・マハティール元首相が板橋区を訪問、歓迎昼食会を実施
2016 年	(H28 年)	11 月	・駐日マレーシア特命全権大使が産業見本市訪問
2017 年	(H29 年)	4 月 8 月 11 月	・クアラルンプール市長が板橋区を訪問、中台中学校訪問や歓迎昼食会を実施 ・区内中学生 23 名をマレーシアへ派遣、異文化交流やホームステイ、ペナン植物園訪問などを実施 ・マレーシア投資開発庁局長が産業見本市を訪問
2018 年	(H30 年)	11 月	・熱帯環境植物館にてマレーシアデイを開催 駐日マレーシア次席大使夫妻が参加 ・マレーシア教育大臣が板橋区を訪問、板橋第一小学校視察 ・ペナン州通産大臣が板橋区を訪問、熱帯環境植物館視察
2019 年	(令和元年)	2 月 12 月	・ペナン州議員団・州政府が板橋区を訪問、熱帯環境植物館視察 ・マレーシア国立大学と区内大学等との MOU 協定締結のため、マレーシア教育大臣が板橋区を訪問。
2020 年	(R2 年)	11 月	・駐日マレーシア特命全権大使が板橋区を訪問、区内企業を視察
2022 年	(R4 年)	5 月 8 月	・YAB ダト・スリ・イスマイル・サブリー・ビン・ヤーコブ首相及び閣僚が板橋区を訪問、板橋区とクアラルンプール市の SDGs 推進ポスターに署名 ・マレーシアオリンピック委員会会長兼バドミントン協会会長が訪問

<u>2023 年</u>	<u>(R5 年)</u>	<u>2 月</u>	・マレーシア・サラワク州・ミリ市訪問団が板橋区を訪問、本庁舎と中央図書館視察
		<u>10 月</u>	・マレーシア・クアラルンプール市長が板橋区を訪問
		<u>11 月</u>	・マレーシア・ジョホール州皇太子が板橋区を訪問、本庁舎を視察
<u>2024 年</u>	<u>(6 年)</u>	<u>8 月</u>	・「友好提携に関する共同声明」調印 30 周年を記念して、板橋区代表がペナンおよびクアラルンプールを訪問

ペナン植物園との友好提携 30 周年記念
板橋区公式訪問団派遣報告書

編集 区民文化部文化・国際交流課
令和6年11月1日